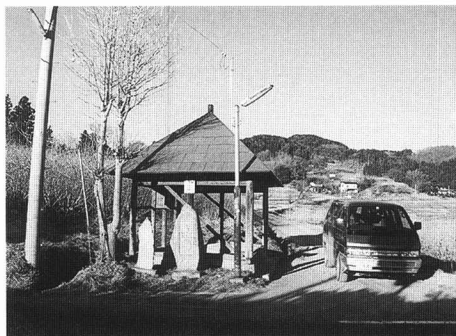


直径二メートル位の塚がある。急坂を十分くらい登ると山頂に着く。「泥地藏」から一時間くらい道のりである。山頂には、木製と石でできた社の「羽山神社」がある。

なお、梅や桜などの花木畑の前進み、東側の尾根を直指して登ると、「下手渡藩駕籠立場」から登ってきた道に合流する。



登山口にある「泥地藏」

【小神麓山から羽田羽山へ】

小神麓山の山頂から北へ向かって十分ほど進むと松林がある。途中左に入りたいたいような道があるが、とにかく真っ直ぐ下る。すると、東側に見晴らしが開けてくる。途中平坦なところがあり、自然石のベンチ状の石が数個あるので小休止できる。さらにそのまま約三十分松と雑木の林の中を進むと、目の前に女神山の全容が見えてくる。また、太郎坊山、長寿山、霊山りょうぜん、そして七ツ森もきれいに見えてくる。作業道を進み終点の手前から笹の中を登りつめると東から北、西の方にかけて見晴らしの素晴らしい山頂になる。ここから少し下り笹の中の道を十五分くらい歩くと、右に少し登ったところに、花崗岩をきれいに積んだ岩屋の中に羽山神社が祀られている。

なお、羽田羽山神社から更に北に五十メートルくらい進んで左に入ると、そこには古峰山、金剛山、加蘇山神社の石塔が花崗岩の間に三体奉られているので、足を伸ばしてみたい。

小神麓山と羽田羽山の間に数条の沢清水が流れている。このうち一番上の沢を「糸沢」という。昔、繭から糸をとる際にカイジョカイジョといってこの水を吸んできて繭